

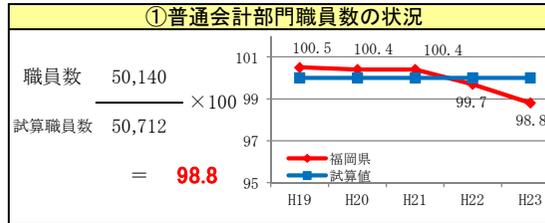
参考指標による職員数等の現状・分析シート

福岡県

<基本データ>

団体名	福岡県
人口(H23.3.31)	5,043,494 人
面積(H23.10.1)	4,979 km ²
全職員数(H23.4.1)	50,254 人
普通会計部門	50,140 人
一般行政部門	7,895 人
教育部門	30,950 人
警察部門	11,295 人
公営企業等会計部門	114 人
財政力指数(H22)	0.60

※教育・警察の各部門については、国の法令等により配置基準が定められています。

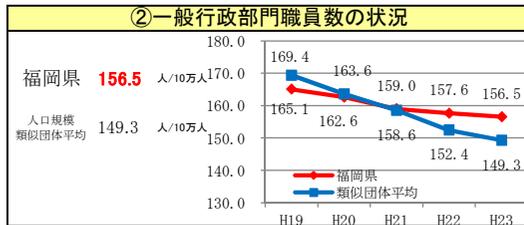


※人口・面積を基にした試算職員数と実際の職員数との比較を示しています。

<三角形の見方>
・太線(赤)は 福岡県 の状況を表しています。
・細線(青)は道府県の平均値等を表しています。

①普通会計部門職員数の状況

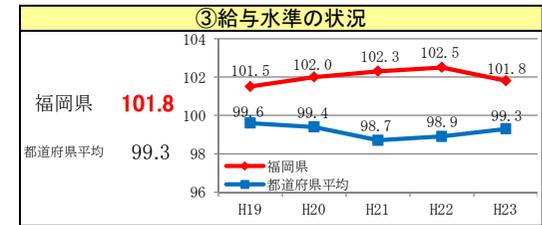
98.8



※人口10万人当たりの職員数を示しています。

156.5 人

②一般行政部門職員数の状況



※職員のうち一般行政職に係る給与水準を示しています。

101.8

③給与水準の状況

<分析欄>

【①普通会計職員数の状況】

平成19年度から23年度において行政改革に取り組み、2,000人を超える普通会計部門の職員数削減を実施した。
その結果、試算職員数を下回る状況となっている。

【②一般行政部門職員数の状況】

平成19年度から23年度において、400人を超える一般行政部門の職員数削減を実施したが、類似団体と比較した場合、人口10万人当たりの一般行政部門職員数は多い状況である。
今後は、平成24年3月に策定した「福岡県行政改革大綱」に基づき、平成24年度から平成28年度の間で、本県特有の事情等を十分検証した上で、全体として職員数の削減に取り組むこととしている。

【③給与水準の状況】

上記のラスパイレズ指数は、主に以下の要因によるものとみられる。
・県人事委員会の調査に基づく初任給の額に国や他の都道府県との差があること。
・国が本府省手当、広域異動手当などの独自の手当を創設するためにH18年～H21年に行った昇給の計4号の抑制措置を実施していないこと。

【④その他】

これまでに県立病院改革や県立大学の独立行政法人化に取り組んだ結果、公営企業等会計部門を含む全職員数による類似団体との比較では、人口10万人当たりの職員数は、少ない状況となっている。
人口10万人当たり職員数
福岡県 996.5人
類似団体 1,076.3人